

# TOPICS

## 「胆沢川自然塾」で川に親しむ

8月5日～6日

県南広域振興局

胆江地方の子どもたちに身近な胆沢川での体験を通じて、川への関心を深めてもらうとともに、胆沢川を通じて地域に住む子どもたちの交流を深めてもらおうと「胆沢川自然塾」が開催されました。

この行事は、毎年開催されていますが、北上川倶楽部が中心となり、胆沢ダム工事事務所、県南広域振興局など官民7つの団体が構成する実行委員会が主催しています。

子どもたちは元気いっぱい。炎天下の中、テントを設営したり、金ヶ崎町西根の農業用ため池で水辺の観察やボート遊びをしたりと、夏を満喫していました。



### ■ 問い合わせ先

県南広域振興局土木部

TEL : 0197-22-2881

## 道路愛護団体等に対する感謝状贈呈式

8月30日

道路環境課

道路愛護思想の一層の普及を図るため、例年、道路月間である8月に、多年にわたり道路環境の美化保全等に努められた団体に対し感謝状の贈呈を行っています。

### ■ 国土交通省大臣表彰

◇東大野生活改善グループ（洋野町）

昭和61年から一般国道395号沿いにおいて、空き

缶拾いや花壇の整備等の道路美化・清掃活動を継続して実施しています。地域の美化活動をとおして、一般通行車両等へも快適な道路環境を提供しています。

20年にわたる道路愛護活動を通じて、地域への道路愛護意識の普及と快適な道路環境の保持に寄与しています。

◇盛岡大通商店街協同組合（盛岡市）

平成元年の盛岡大通商店街のアーケード設置とカラー歩道化を契機に、担当者を配置し、車椅子利用者や視覚障害者にとって歩行障害となっていた歩道上の無秩序な放置自転車の整理・指導や可搬式看板、幟旗等の撤去指導等に取り組んでいます。商店街において快適な歩行者空間の確保に尽力しています。



国土交通大臣表彰

### ■ 岩手県知事表彰

◇立花地区道路愛護会（北上市）

昭和52年から、立花地区の道路の維持管理と美化に努め、地域住民の生活への支障を防ぐとともに、道路愛護思想の高揚に努めるなど、小学生から老人まで地区民一体となった積極的な活動により、安全で円滑な道路交通の推進に貢献しています。特に同地区は、北上市立公園「展勝地」を有しており、同公園を訪れる観光客のため、これに通ずる県道の美化活動を重点的に実施しています。

◇綾織町地域づくり連絡協議会（遠野市）

昭和54年から、綾織地区の道路の維持管理と美化に努め、地域住民の生活への支障を防ぐとともに、道路愛護思想の高揚に努めるなど、子供から大人まで地区民一体となった積極的な活動により、安全で円滑な



道路交通の推進に貢献しています。特に、平成10年度から「花街道あやおり事業」として国道沿い約8kmにわたり、地域住民総出でマリーゴールド苗を植栽しています。5万本に及ぶマリーゴールドは、開花時期の4ヵ月間、見事なフラワーロードを作り上げ、往来する人々の目を楽しませるとともに、快適な道路環境の保持に寄与しています。



岩手県知事表彰

#### 問い合わせ先

道路環境課

Tel : 019-629-5876

### 平成18年度優秀災害復旧事業技術発表会

#### 最優秀賞を受賞

8月3日

砂防災害課

社団法人全国防災協会主催の「平成18年度優秀災害復旧事業技術発表会」において、二戸振興局土木部蔵谷技師発表の「平成16年災 一級河川十文字川河川災害復旧事業」が最優秀賞を受賞しました。本県からは、このほか盛岡地方振興局土木部藤島主任より、「平成16年災 一級河川木賊川筋木賊地区河川災害復旧事業」が発表されました。

いずれも、復旧工法の選定にあたっては、関係機関との調整を図った上で、適切な周辺環境の把握、動植物に対しての配慮等を行った工法を積極的に採用したこと、施工後においても継続的な事後調査を行うことなどが、審査員より高い評価を受けました。

#### 問い合わせ先

砂防災害課

Tel : 019-629-5921

#### 優秀災害復旧事業技術発表の概要から

- ◆ 課題 一級河川十文字川河川災害復旧事業
- ◆ テーマ 新工法等
- ◆ 目的・背景

平成16年7月26日～27日の豪雨により河川が急激に増水し、河床洗掘及び側方侵食により土羽護岸が被災したものである。右岸は水衝部となっていて、河川の近くには民家があったが、樹木があったことで被害の拡大を防止することができた。

#### ◆ 具体的な成果

右岸は樹木（ヒバ、トドマツ等）により被害が拡大しなかったことから、樹木の多い右岸は樹木取組み施工可能なパネル枠工法、樹木の無い左岸はカゴマット工を復旧工法とした。

パネル枠工の特性は

- 流速10m/s程度まで対応でき、衝撃力に強い。
- 中詰材により自重を確保した一体型構造物。
- 特殊な水質などの悪条件に耐えうる。
- 多様な形状に対応できる軽量パネル（4kg/枚）。
- 自然な風景の創出が可能。パネル枠工は、現状地形に合わせて樹木の根張りに適した施工ができることから、既存樹木を残すことができ、自然環境に配慮することができた。

#### ◆ 今後の課題

25cm×50cmのパネルを組み立てる作業のため、据付や中詰材の施工に難しい部分があることから、今より大きな規格の製品化が望まれる。